

農林水産企画部会での論点と対応方向のとりまとめ概要

第1回総会・企画部会での整理

【ひょうご農林水産ビジョン2030】

第6章

めざす姿を実現するための施策展開(13項目及び各種施策)

- 全ての県民にどのように働きかけるか考える必要
- 横展開して広めていく必要
- 現場レベルでの議論が必要



事例研究・話題提供等による実施すべき取組の横展開に向けた検討・研究

【答申】

- ①県民主体の具体的な取組
- ②取組を促進する県の支援施策



ビジョンの実現

本県の農林水産業を取り巻く情勢の変化を踏まえた施策推進

第2回、3回企画部会での審議

・今、特にどのような情勢変化に留意し、どのような県民主体の取組を進め、どのように県が支援すべきかについて、ご意見を集約(事務局案をたたき台にご意見を集約)

〔留意すべき情勢の変化(論点例)〕

- 1 食料安全保障を取り巻く情勢の変化への対応
- 2 ポストコロナ社会への対応
- 3 カーボンニュートラルをめざした取組の拡大

〔課題(対応方向例)〕

- 1 生産の場
 - (1)食料生産の基礎となる土地や海域等の有効利用や環境整備(⑪、⑰、⑱)
 - (2)国産・県産物の増産(輸入品からの切替促進)(6月補正)
 - 2 労働
担い手と多様な労働力の確保(②、③、⑤、⑯、㉓)
 - 3 技術・資材
 - (1)スマート化による生産性の向上、製品の高品質化(事例①)
 - (2)燃料・肥料・飼料等の価格の高騰対策(6月補正)
 - (3)地球環境に配慮した農林水産業の展開(⑦、⑩、⑲)
 - 4 流通・消費
 - (1)高付加価値化(⑥、⑭)
 - (2)米食中心の食生活の推進(㉔)
 - (3)消費者と生産者が支え合う関係づくり(⑥、⑭、㉑)
- ※丸数字は先導的事例の番号